

増え続ける不登校:不登校の子どもの学びと大人になっていく過程をどう支えるか

文科省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」で、不登校児童生徒数は毎年過去最高を示しています。

学校に行けなく(行かなく)なった子どもたちが教室や学校以外でも、人との関わりながら学ぶことができ、自己を育てていけるためには何が必要でしょうか。

具体的なご経験の 2 つの報告をもとに、皆さんといっしょに考えます。

世話人 片岡洋子(埼玉)、吉田圭子(北海道)

学校に望むことは、「人間的成長」と「将来のための学び」

大橋伸和さん(社会福祉法人さっぽろひかり福祉会 相談室あさかげピアサポーター)

小中不登校で高卒後ひきこもり経験者の見地からお話しさせていただきます。不登校への対応として学校の大きな変容が希求の課題と思いつつ、それには長き時間がかかります。今回は、学校変容を見据えつつも、経験談と学外の居場所や人間的成長の話を中心に、今どの様な関わりや仕組みを展望するかを語ります。

不登校だった長女が社会にでるまでに学んだこと

門前真理子さん(不登校の子どもをもつ親の会トポス 世話人)

今 40 代の長女の不登校は小学 6 年から始まり、高校は 4 校を 8 年かけて卒業はしましたが、社会へ出るためにどうしたらいいのかわかりませんでした。ある事件をきっかけに司法とのかかわりで「病気」と「発達障害」があるとなり、専門の医療機関の治療を受けて親も本人への対応することができました。30 代になって「やっと自分の人生を歩んでいる」と言えるようになり、現在に至るまでに、親の私が学んだことをお話しします。

8 月 6 日:講座・はじめのつどい 7 日:18 の分科会 8 日:5 つの教育問題フォーラム・おわりのつどい

参加費	教職員(常勤)	一般(保護者・市民・退職者など)
3 日または 2 日参加	5,000 円	4,000 円
1 日参加	3,000 円	2,000 円

◇割引について

①北海道内に在住・在勤の方

全日参加 1,000 円引き 1 日参加 500 円引き

②教科研会員 500 円引き

※割引は、①または②のどちらか一方の適用となります。割引の重複はできません。

◎学生・院生 全日・1 日とも 1,000 円 ○高校生以下 無料

本フォーラムについての問い合わせ先:片岡洋子 kataoka@faculty.chiba-u.jp



教科研大会詳細と
申込方法はこちら